

日本ALS協会北海道支部 第23回定期総会開催にあたって

一般財団法人北海道難病連
代表理事 竹田 保

日本ALS協会北海道支部 第23回定期総会の開催にあたり一言ご挨拶申し上げます。

北海道難病連では、このたびの改正難病法・改正児童福祉法の成立・施行を受け、新たな制度の定着と今後の運用を注視し、本改正が療養環境の改善と研究促進に着実につながるよう働きかけをすすめてまいります。

特に、私たちの住む北海道においては、地域の医療と介護・福祉を守る取組みが急務です。道内各地域では医師、看護師やヘルパーの慢性的な不足による医療・介護体制の縮小が顕著です。その結果、遠方の医療機関への受診や施設入所を迫られるケースが散見されます。しかしながら、昨今の物価高、公共交通網の減少等でその選択さえもできない現状があります。誰もが安心して医療・介護を受けられる地域のあり方について、私たち当事者を含め全体で議論していくことが大切です。

本年8月、第49回全道集会（網走大会）をハイブリッド開催します。2018年の中空知大会以来の地方大会です。地域の医療、地域の福祉を守るため、多くのご参加をお待ちしております。

結びになりますが、私たちが療養生活の中で直面する様々な悩み・困難をしっかりと受け止める対策が進むよう、各加盟疾病団体・地域団体で実態と問題を見える化そして共有し、ともに手を取り合い積極的に発信していきましょう。

本日の総会がお集まりの皆様方にとりまして、実り多いものとなることを心からお祈りし、挨拶とさせていただきます。